

第6回 文化財保存活用地域計画策定協議会（令和3年8月2日）

議事要旨

○日時：令和3年8月2日（月） 19：00～20：30

○場所：結とびあ 302号室

○出席委員 11名

事務局 5名

○議事事項

1 文化財保存活用地域計画について

・変更箇所の報告について

【例言】

発言者	質疑・指摘事項等
質疑	「地域資源」というのは、「文化財」の総称としてよく使うのか。
事務局	大野市では、「地域資源」という言葉を「文化財」と同等に扱い、協議を進めてきた。同等のものであるというのは、一般的にはわかりにくく、文化庁からも記述するよう指導があったため、定義を記述した。
意見	大野市で改めて、「文化財」を定義することは、良いことなのか。例えば、「埋蔵文化財」、というときに意味がややこしくなるだろう。文化財保護法との兼ね合いから、「定義」ではなく、「扱い」程度にしてはどうか。
事務局	文化財を定義することは文化財保護法との兼ね合いもあるため、定義づけではない表現で考えていきたい。
意見	おおの遺産なども含めた概念として「文化財」を扱いたい、ということであれば、「地域資源」に、おおの遺産なども含まれるのではないか。「文化財」まで定義しなくともよいかもしれない。
意見	補助金使用については、例言の2番目に記載することが一般的か。巻末に小さく掲載してはどうか。
事務局	巻末に掲載する例は少ないと思う。他自治体の地域計画を参考に、例言の中でも下に下げることを検討する。
意見	地域計画が作成されている小浜市や若狭町では例言がなかった。補助金は最後に記載する方が収まりが良いかもしれない。

【第1章】

発言者	質疑・指摘事項等
質疑	図2に、大野市文化財保護条例は入れないのか。
事務局	文化庁に確認したところ、地域計画の位置付けに関する内容として条例を記述するのは一般的ではない、ということだった。文化財保護法については、地域計画が基づく法令のため記述したが、福井県文化財保護条例・大野市文化財保護条例は入れないこととした。

## 【第2章】

発言者	質疑・指摘事項等
意見	地形・地質については、文章を書きなおす、ということだったと思う。入れ替えれば良い内容になるかと思う。p10では、美濃帯の放散虫は古生代ではなく中生代を示すものとなったことを追加してほしい。
事務局	p10のことは別途相談・調整させてほしい。
意見	地形・地質については専門的な内容と思うので、高津委員に相談し、適切な文章にすること。
意見	図は文章と整合がとれるようにすること。例えば、図4では本文中にある市町が掲載されていた方が良く、図7では九頭竜川以外の清滝川・赤根川は県境が源ではない。
事務局	調整する。

## 【第3章】

発言者	質疑・指摘事項等
意見	p47表3 西谷村誌と和泉村史は大野市が編纂したものではないため、別とわかるような表記にした方がよい。
事務局	調整する。

## 【第4章】

発言者	質疑・指摘事項等
意見	活用に関する課題について、「“未指定文化財も含めた” さまざまな…」とした方が、文意が伝わるのではないかと。
事務局	修正する。
意見	価値づけをしなければ活用にならない。そのため、「活用に関する課題」から、「保存・活用の方針」①への線は必須だと思う。

事務局	修正する。
-----	-------

【第5章】

発言者	質疑・指摘事項等
質疑	関連文化財群において、大和政権の古墳までは言及されているが、その後室町時代まで、平安時代と鎌倉時代には大野市は何もない、と思われても良いか。
事務局	p 52 に関連文化財群の考え方を記述しているとおり、取り上げない文化財や時代も、保存・活用の対象となる。大野市では、平安時代は、関係する文化財が極端に少ない時代であるため、平安時代を取り上げていない。ただし、〈6〉信仰や〈7〉芸能で平安時代に関する内容を取り上げている。また、〈4〉で鎌倉時代における内容について少し触れている。一連の文化財の中で各時代を押さえていると考えている。
意見	関連文化財群は、大野を特徴づけるものとして、ストーリーを提示しやすいものをピックアップしているものだろう。ここで省略されるものもあるかもしれないが、第2章の通史でフォローしてある、と理解いただければよいと思う。第5章はあくまで例示という理解である。
質疑	文化財保存活用区域は1カ所のみか。
事務局	文化財保存活用区域は、1カ所のみ図示している。それ以外は各関連文化財群のストーリーで図示して、文化財の所在を表示している。
意見	保存活用区域を1カ所に絞った納得できる理由が必要である。
意見	本文中への補足が必要ということかと思う。既に市街地で行われている事業をモデルケースにして、進めていく区域ということだろう。
事務局	誤解が無いように追記したい。
意見	p 87 の記述で「関係なく」でなく、「いろいろなストーリーがこの中にあるから」とした方が良い。
事務局	修正する。
意見	文化庁から、関連文化財群のテーマ名について平凡ではないか、と指摘があったと聞いている。検討する余地があるのではないか。大きなテーマになるほど、平凡になりがちでありため難しいが、例えば、「〈9〉食の営み」はあまりにもシンプルすぎる。委員からいいアイデアがあれば、頂戴したい。
意見	テーマ名に関係することとして、「歴史文化の特徴②」に対して、大野城の前史である「〈4〉戦乱の時代と大野盆地の城郭群」は浮いてしまう気がする。

事務局	大野城は大野を特徴づけるものであり、〈4〉については、「大野城」を使用したテーマ名としたい。
意見	委員からいいアイデアがあれば、頂戴したい。
質疑	〈9〉にある「半夏生」は「はげっしょ」という読みで良いか。
事務局	時期を指す場合は「はんげしょう」だが、料理名だと「はげっしょ」鯖という。
意見	〈8〉の最後4行は、こうした災害がどのような地域資源につながるかの記述を追記する必要がある。
事務局	追記する。

#### 【資料編】

発言者	質疑・指摘事項等
事務局	資料編として、一覧や諸々の資料についてまとめた。現在、仮定でp100以降としている。本文中で関係する箇所、「詳細は資料編を参照すること」とした。
意見	p106以降 動物の分類についての扱いは、哺乳類などは種まで記載があるため、昆虫も種まで記載すること。冗長になるようであれば、例えば絶滅危惧種のみを記載するなど、工夫をして欲しい。
意見	p109 「芦“屋”層」でなく、「芦“谷”層」のため修正すること。産出化石は追加すべきものがあるため、後程共有する。
意見	p106 表では「ニホンカモシカ」だが、本文では「カモシカ」となっているため、統一すること。
質疑	p110 自然災害として、火災の記録は記載しないのか。
事務局	市街地での大火の記録があるため、追記する。

#### 【全体】

発言者	質疑・指摘事項等
提案	おおまかな修正の方向性についてはご了承いただける、ということでしょうか。また、今後、委員長と事務局で話し合いを行い、委員に書面にて報告する、という形でよいか。
全委員	異議なし

発言者	質疑・指摘事項等
事務局	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、7月に予定をしていた文化庁による現地視察は8月で調整をしている。
意見	第7回協議会では第6章・第7章の協議になる。委員宛ての資料送付を早めに行えるようにしてほしい。
事務局	承知した。